

南海トラフ巨大地震の恐怖

～最大被害は死者33万人～

防災新聞

発行者

関西ボラコン株式会社

兵庫県丹波市
山南町草部448-1
電話 06-6467-8333
ホームページ
bousai-ansin.com

「いいね！」
お願いします

<https://www.facebook.com/ansin.bousai/>



1万8千人を超える死者、行方不明者を出した東日本大震災から5年。未だ全国で地震が頻繁に発生する中、東日本大震災の被害を上回る規模の大震災が予測されています。

その地震の一つは被害想定が2万3千人とされている「首都直下型地震」。もちろん、この地震にも警戒は必要ですが、もう一つの地震の被害想定が更に甚大なものであるとして、非常に警戒されています。

その地震が「南海トラフ地震」です。南海トラフとは、静岡県駿河湾から九州東方沖まで続くフィリピン海プレートとユーラシアプレートの境界にある、水深約4,000メートルに及ぶ大きな海底の溝のことを指します。日本地図で言えば、富士山の南から始まり、斜め下方向に進んで大分県の海岸まで直線を引き張った直線上にある一帯を南海トラフといいます。この南海トラフは大規模

で活発な活断層となっており、13都県にわたる大津波が予想されるために建物の損壊など様々な面で被害が大きくなることが予想されています。交通機関が麻痺することで避難者数が増え、経済被害も甚大となる計算となっています。

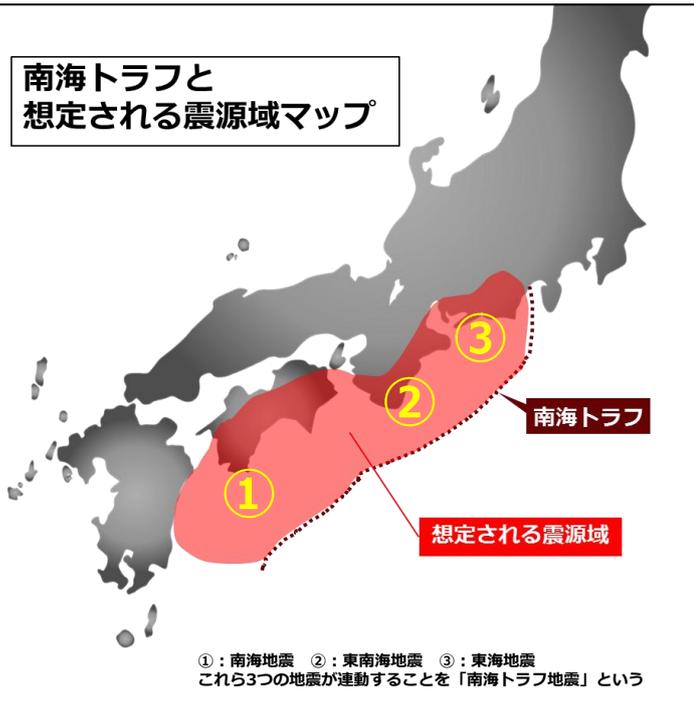
◆南海トラフ地震とは
南海トラフ地震は、過去に残っている記録と、研究者の見解から、「100年」200年の周期で発生する、マグニチュード8前後

の「巨大地震」と言われることが多いです。最後に発生したのは1946年の昭和地震で、最大マグニチュードは8.0を記録しています。最後の南海トラフ地震が発生してから今年で70年、次に発生するのは2030年頃という見解があります。一方では、200年周期を否定する声もあり、次に起こるのは200年以上先という説もあります。

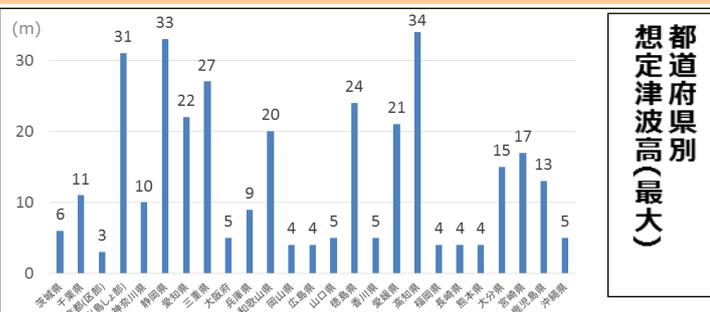
◆被害30万人超え予想も
では、南海トラフ地震が発生した場合の被害想定は、どのような規模になるのでしょうか。被害想定は最大で死者32万3千人、33万人です。この死者数は東日本大震災の約20倍ほどの数字です。2004年

スマトラ島沖地震の死者・行方不明者数の約28万人を上回り、近年の災害史上最悪の大惨事となることが予想されます。死者が最大とされている県は静岡県。ここでは、最大10万9千人が死亡するという予測データが出ており、大半が津波によるものが原因になるとされています。「1日での避難者数」と「全壊の建物」での予想は最も多いのが愛知県で130万人と約39万棟、大阪府で120万人と約34万棟、次いで静岡県が90万人と約32万棟となっています。

南海トラフと想定される震源域マップ



南海トラフ地震の被害想定



巨大地震の後の恐怖 ～通電火災・火災旋風～

防災新聞

発行者

関西ボロン株式会社

兵庫県丹波市
山南町草部448-1
電話 06-6467-8333
ホームページ
bousai-ansin.com

「いいね！」
お願いします
<https://www.facebook.com/ansin.bousai/>



◆津波被害にも注意

南海トラフは、静岡県沖から四国・九州沖にかけて伸びているため、予想される津波被害も甚大です。20mを超える高さの津波が襲ってくる地域も数多くあるという予想が立てられており、かなり大きい規模の地震であることがわかります。

◆火災での大惨事も

地震が起きた後に警戒しなければならぬことは様々ですが、あまり知られていない一つの例として火災が挙げられます。地震後の火災の多くは、「通電火災」と呼ばれる火災が約6割を占めています。通電火災とは、地震で家の中の家具が散乱した状態のまま停電から復旧することで、電化製品から発生する火災のことです。電気ストーブやオーブントースターなどに衣類などが接触している場合以外でも、家具の転倒や落下で傷ついたコードに通電することでショートして火災が発生するケースもあります。

この通電火災は、時間差で起きることもあり、阪神・淡路大震災では震災から最長で8日後に通電火災が発生していたという記録も残っています。

◆火災から起きる火災旋風

通電火災が発生して広範囲に火が燃え広がると、更に恐ろしいことが起こる可能性があります。それは、「火災旋風」と呼ばれる現象です。火災旋風は、地震や空襲などによる都市部での広範囲の火災や、山火事などによって、炎をとまなう旋風が発生し、さらに大きな被害をもたらす現象のことで、発生条件や発生メカニズムは完全には解明されていません。

火災旋風は渦の中心付近は、1000度を超える温度で、秒速100メートル以上の強烈な風が吹いてます。炎に焼かれれば当然命はありませんが、近づくだけで火傷を負い、命を落とすことすらあります。火災によって暖められた空気が上昇気流となって発生するので、普段竜巻が起らないような場所でも発生します。巻き上げられた様々なものが落下してくるという危険性も持っており、更に被害者の数を増やす原因にもなるのです。

◆火災への備えとして

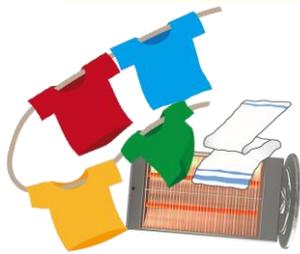
通電火災の対策で有効なのは、やはり避難するときにはブレーカーを落とすことですが、なかなかそんな余裕はありません。そこで、「感震ブレーカー」というものが推奨されています。感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落とすことができます。近年では、簡易的なものが販売されており、安価で対策ができます。

九州電力によると、先日の熊本地震の際には、阪神・淡路大震災の教訓を活かし、事前にブレーカーを落とすよう呼びかけたり、慎重に通電作業を行ったりという行動が功を奏し、通電火災の発生は0であったことがわかっています。その他にも、炊事の時間帯と重ならない季節でなかったこと、暖房を使う季節でなかったことも関係しているとも考えられます。

地震時の主な火災発生原因(一例)



家具などの転倒による電源コードの断線



洗濯物などがヒーターに接触

建物の倒壊や家具・家電の転倒、散乱



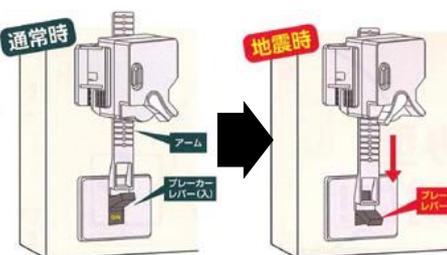
電気ストーブや照明器具が可燃物と接触し、出火

停電後、電気が復旧



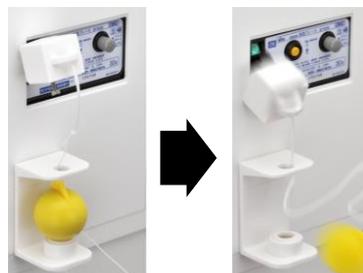
電気ストーブ
観賞魚用のヒーター
傷んだ配線から出火

感震ブレーカー



地震時の電気による火災の対策

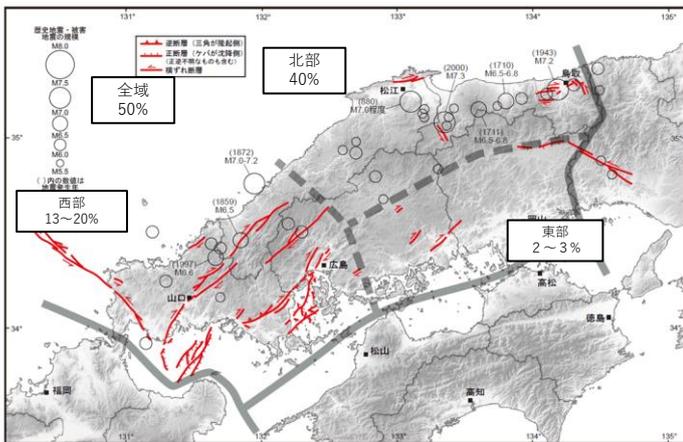
地震の揺れを感知すると作動し、レバーでブレーカーを下げる



スイッチ断ボール

地震の揺れを感知すると作動し、ボールの重みでブレーカーを下げる

30年以内M6.8以上の地震発生確率 中国地方で50%



今後30年間にM6.8以上の地震が起こる確率（中国地方）
地震調査委員会中国地域の活断層の地域評価より引用

地域別の活断層評価 (中国地方)	全国地震動予測地図 (6月公表)
公表している確率	
30年以内に マグニチュード (M) 6.8以上の 地震が起きる確率	30年以内に 震度6弱以上の 地震が起きる確率
対象となる地震	
活断層地震のみ。 主要な活断層のほか、 小さい活断層や 海底の活断層も考慮	主要な活断層による 活断層地震と 海溝型地震
対象地域	
地方ごとに順次公表	日本全国について 一度に公表

参照：日本経済新聞 2016年7月1日
「M6.8以上、30年以内に50%」中国地方の活断層地震
政府の地震調査委公表

政府の地震調査委員（委員長・平田直東京大学教授）は7月に、中国地方にある活断層が起す地震の発生確率を評価した結果を公表しました。今後30年以内にマグニチュード(M)6.8以上の地震が中国地方で起きる確率は50%と発表。鳥取市や原発のある松江市がある北部で40%、山口市や広島市がある西部は14~20%、岡山市など東部は2~3%としています。地域別に活断層の地震確率

を公表するのは2013年の九州地方、15年の関東地方に次いで3例目です。中国地方での発生確率は関東地方の50~60%とほぼ同程度で、九州地方の30~42%よりやや高めを発表。今後、関西地方なども公表する予定です。今回は中国地方で長さが20キロ以上ある安芸灘断層帯など6つの主要活断層のほか、比較的小さな活断層や沿岸部海底にある活断層など18を加えた合計24の活断層が地震を起こす確率をそれぞれ算

定しています。今回の評価結果とは別に、地震調査委員会は6月に巨大地震の発生確率の長期予測を示す「全国地震動予測地図2016」を公表しています（前月の防災新聞掲載）。この全国地震動地図と今回の評価結果で発生確率が大きく異なる地域もありません。例えば、岡山市は今回の評価では活断層地震の確率が2~3%とされた地域にありますが、全国地震動地図では41%でした。平

田委員長は「岡山は活断層評価では低い数字が出たが（海溝型地震である）南海トラフ地震の影響もあり、油断しないでほしい」と呼びかけています。中国電力島根原子力発電所（松江市）の近くを走る宍道断層について、地震調査委員会は長さ約21キロメートル以上に及ぶ活断層で、M7以上の地震を起す恐れがあると指摘しています。過去の活動履歴や規模の評価が定まらず、発生確率は「ほぼ0.0002%」「0.9~6%」と併記しています。地震調査委員会は01~3%を「やや高い」、それ以上を「高い」としています。宍道断層で起きる地震の規模は同原発に対する原子力規制委員会の安全審査でも議論の焦点

◆結果をふまえて備えるべきこと
今回の地震調査委員会での発表は今後各地域ごとに発表される予定です。お住まいの地域の数値をみたあとに再度地震災害について考えておく必要があります。地震が発生する確率はかなり高いと言われていますが、実際には「まだ明日来るといわけじやないし。」と考えている方も多く、広く意識が浸透しているかというところでない部分もあります。予期せぬ災害だからこそいつ来てもいいように準備しておくことが重要です。

いざ地震が来たために、水や食料などの必需品を準備しておくことからはじめてみるというかもしれません。地震が発生した際はパニック状態になるため、冷静な判断が出来なくなってしまう可能性があります。日頃から防災に対する意識を高めておくことで、とっさの判断ができるようになります。地震や災害に関する情報はネットにも数多く記載されているので一度調べてみることをお勧めします。緊急時に役立つ身の回りの生活用品は野外キャンプなどでも使えるようなものもあるため、あなたの関心の高いものから検索して情報を収集してみたい地域もありません。お住まいの地域の避難所指定場所なども確認しておくのも良いでしょう。日頃の何気ない習慣が緊急時に活躍してくれそうです。

防災新聞

発行者

関西ボラコン株式会社

兵庫県丹波市
山南町草部448-1
電話 06-6467-8333
ホームページ
bousai-ansin.com



https://www.facebook.com/ansin.bousai/



地震がきたらまず隠れる

～構-kamae-の避難方法～



テーブルの避難方法

- ①地震警報が鳴る
- ②テーブルに近い人から下に潜る
(先に潜った人は他の人をテーブルに誘導する)
- ③揺れが収まるまでテーブルの下で待機する
- ④揺れが収まれば、避難すべきかの状況判断



ベッドの避難方法

- ①地震警報が鳴る
- ②体を回転させ、ベッドから降りる
- ③中央の脚を掴み、体を引き寄せる
- ④揺れが収まるまで待機
- ⑤避難すべきかの状況判断

◆**地震発生したらまず自分の命**
地震速報が鳴ってから地震が到達するまでの時間は数秒から数十秒と言われています。また、震源地に近ければ近いほどその時間は短くなります。地震は数秒の判断が命に関わるため、地震が発生した際の動きは事前に確認しておきましょう。日々確認が命を守ることになりません。今号では弊社が販売中の構シリーズの避難方法についてを解説していきます。ご購入いただいたお客様はぜひ避難方法を実際にお試しください。

◆**避難方法・テーブル編**
構シリーズは耐荷重性能が非常に優れている製品です。そのため、地震が発生した際には机の下に潜りましょう。テーブルに近い人から潜り、先に潜った人はテーブルに他の人を誘導しましょう。図のように体を屈めて体全体がテーブル内に収まるように屈むことがポイントです。揺れが収まるまでの間はそのまま待機しましょう。揺れが収まれば避難すべきかの状況判断

を行いましょう。地震の揺れが収まったあとにテレビやラジオ、スマートフォンなどで地震の情報がわかればすぐに次の行動へ移しましょう。地震の規模によっては次の行動は変わってきます。例えば海の近くに家がなれば津波の警戒をしなければなりません。また、家が倒壊しそうな状態であればすぐに外に出る必要があります。その時の状況に応じて、対応方法を変更しましょう。

◆**避難方法・ベッド編**
地震は就寝中に発生する場合もあります。阪神淡路大震災は早朝に発生し、熊本地震では4月16日に発生した大きな揺れは深夜1時ごろに発生しています。構シリーズのベッドの避難方法として、就寝中に地震が発生した際はまず体を回転させベッドから降りましょう。すぐにベッドの下に潜り込んでください。中央の脚を掴み体を引き寄せてベッドの外へ体が見えないように身を屈めるような形で避難します。テーブル同様に揺れが収まるまでベッドの下で待機し、避難すべきかの状況判断をします。就寝中に地震が発生した場合は停電してしまうと周りが見えなくなってしまう非常に危険です。ガラスなどの破片で怪我をすることもあるため枕元には必ず懐中電灯と靴を用意しておきましょう。就寝中は無防備になっている状態でもあるので、周りに倒れてくる可能性のある棚やクローゼットは置かないようにしておきましょう。揺れが収まって動ける状態になったらすぐに次の行動へ移し、家族の安否確認等を行ってください。災害時は電話の回線も非常に混雑する可能性が高いので、電話をかけるタイミングなどは最低限の会話程度にとどめるようにし、メールやチャット、SNSを活用するようにしましょう。

防災新聞

発行者

関西ボラコン株式会社

兵庫県丹波市
山南町草部448-1
電話 06-6467-8333
ホームページ
bousai-ansin.com



<https://www.facebook.com/ansin.bousai/>



地震がきたらまず隠れる ～構-kamae-の避難方法～

防災新聞

発行者

関西ボラコン株式会社

兵庫県丹波市
山南町草部448-1

電話 06-6467-8333

ホームページ
bousai-ansin.com



<https://www.facebook.com/ansin.bousai/>



押入れシェルターの避難方法

- ①地震警報が鳴る
- ②襖を開ける
- ③押し入れに入る
(前向きか後ろ向きかは各自
入りやすい方)
- ④飛来物から身を守るため、自分の体が
隠れるくらいまで襖を閉める
※完全に閉めてしまうと
閉じ込められてしまう恐れあり
- ⑤揺れが収まるまで待機
- ⑥避難すべきかの状況判断

◆避難方法 押入れシェルター編
構シリーズの商品はテーブルとベッドの他にも押し入れシェルターがあります。押し入れシェルターはご要望に応じて様々な形に対応できる製品です。そのため、避難スペースを広く確保することも可能です。

避難方法としては、地震警報が鳴ったあと、襖を開け押し入れに入ります。飛来物から身を守るために自分の体が隠れるくらいまで襖を閉めましょう。全部閉めてしまうと閉じ込められてしまう可能性があります。そのため、注意が必要です。そしてテーブル、ベッド同様に揺れが収まるまで待機し、避難する

◆潜る練習をしておく
地震は突如として発生するため、日頃からの意識がとて大切ですが、日頃からの潜る練習や地震が起きた際の動きを確認しておくことをおすすめします。実際に地震が発生した際は予想していなかった被害が出ることも十分考えられます。東日本大震災のよう

な津波がくることもあります。他にも電気・ガス・水道といったライフラインがストップしてしまうえば、トイレひとつにおいても非常に困難になってしまいます。料理もできなくなってしまいます。いつも当たり前になっ

ているものが突然機能しなくなるというのを想定して備蓄等を確保しておく事が大切です。大きな災害が起こらないことが一番ですが、もしもを想定して、いざというときのために十分対応できるように災害に対する知識や練習を積んでおきましょう。

災害時の豆知識～vol.25～

水を貯める重要性

◆水が止まるとトイレができない！？

地震の揺れが収まったら水を貯めることを忘れずに行いましょう。特にマンションに住んでいる方は、風呂、バケツ、シンク、桶…など出来る限り水を貯めましょう。揺れてすぐに水道管が壊れて水が出なくなる可能性はありますが、マンションであれば屋上の貯水槽にまだ水があることがあります。この水は、「トイレ用」の水として活用します。今は殆どの施設が水洗便所仕様です。つまり水がなければ流せません。普通の水洗で約バケツ2杯分が必

要となります。特に高層階にお住まいの方などは水、電気が止まってしまうと死活問題になってしまいます。意外と知られていませんが、トイレはどんな状況でも使われるので災害が発生した場合は水をためるということを覚えておきましょう。



防災士監修非常用持ち出し袋 近日発売開始予定！

防災新聞

発行者

関西ボラコン株式会社

兵庫県丹波市

山南町草部448-1

電話 06-6467-8333

ホームページ

bousai-ansin.com



https://www.facebook.com/ansin.bousai/



72時間の壁を乗り越えるために...

72時間の壁とは...

一般に、人間が飲まず食わずで生き延びられる限界が72時間であることと、阪神・淡路大震災において、救出者中の生存者の割合が、発生から3日を境に急減したことから、このように言われています。

[東日本大震災の救助者数]	
<small>(防災士監修平成24年度より)</small>	
3月11日(震災発生当日)	8202人
3月12日(震災発生翌日)	6362人
3月13日(震災発生3日目)	3944人
3月14日(震災発生72時間の4日目)	465人
3月15日(震災発生5日目)	203人
3月16日(震災発生6日目)	77人
3月17日(震災発生7日目)	26人
3月18日(震災発生8日目)	7人

72時間経過すると生存者の割合が急減

助けを待つだけでは 手遅れになってしまう!?

地震が発生してから政府の救助体制が整うのに、**約3日**かかると言われています。まずは**地震の被害から命を守る**ことと、**救助が来るまで生き延びることが重要**です。

備

-Sonae-

震災を経験した防災士が選ぶ
防災グッズ「備-sonae-」(仮)



商品ラインナップ

続々と決定中!!!

◆日本の復興速度

以前からお伝えしているように、大規模な災害などの時にまず最優先すべきことは自分の命をしっかりと守ることです。日本は海外に比べて災害後の復興スピードが格段に速いことをご存知でしょうか。各国から日本の復興の速さには驚かれるほどです。住宅や公共インフラに加え医療や福祉など支援は様々です。その為、世界中の国々と比較した際に、日本

◆命が助かった後に

このように、日本では震災後の生活がある程度保証されているとはいえず、地震の瞬間に命が助かれれば済むかと言われればそのような簡単な話ではありません。防災家具「構」などによって日頃からしっかりと地震対策を行い、命が助かっ

◆本当に良い物を

この度、関西ボラコンからも非常用持ち出し袋が発売することとなりました。非常に良い物を使っても、本当に良い物を使っても、品揃えとなつていません。また、この時に生きてくるのが、非常用持ち出し袋や備蓄品といった防災グッズです。近年では地震に対しての意識も全国で上昇傾向にあるため、家庭で非常時に備えて備蓄品を常備している方も多いのではないのでしょうか。

までにはおよそ3日かかるとされているので、この3日間をいかに生き延びることができかが鍵となります。

お子様が常に携帯できるようなものから、ご自宅に常備しておくことでいざというときの緊急事態に備えられるものまで、幅広い種類での防災グッズを準備中です。

現在、高品質で出来る限りの低価格を目指して商品を開発中です。正式な発売日や価格が決定した際には、改めてご案内致しますので、どうぞご期待ください。